

# 平成 25 年度 妙高市音楽部 活動報告

部長 荒川 圭子

## 1. 研究主題

「音楽のよさを感じ、伝え、共につくる音楽活動のあり方」

## 2. 研究の概要

- (1) 夏の研修……教育課程伝達講習
- (2) 秋の研修……基本的に授業研究を中心とする。
- (3) 市の音楽発表会……市内小・中・特別支援学校 計 14 校が一同に会し、音楽発表会を行う。音楽部会が実行委員会となり、企画運営にあたる。

## 3. 研究の実際

- (1) 夏の研修 (8 月 22 日)

教育課程伝達講習会を実施した。小中の教育課程について、一同に授業実践例を基にした説明を聞くことができ、新しい音楽授業展開に刺激を受ける機会となった。

- (2) 秋の研修(11 月 7 日)

①公開授業 全校合唱・全校合奏 授業者 岡田 明 教諭 (妙高高原中学校)

②題材 A 混声三部合唱 「妙高山に」 作詞：杉みき子 作曲：黒沢吉徳

B アルトリコーダー「ラバース コンチェルト」 編曲：ランデル

C リコーダー4重奏「カノン」 作曲：パッフェルベル 編曲：橋本祥路

110名の生徒による全校合唱・全校合奏であった。翌日の音楽会に向けて練習してきた「妙高山に」を中心とする展開である。合唱の技術を身に付けることをメインとし、後半は1・2年生が3年生の演奏を鑑賞することにより、目指す方向を理解させながら音楽を楽しむ要素を多く取り入れていた。合唱・リコーダー共に通年で取り組んできている楽曲である。リコーダーは、1授業で毎時間5分ほどの練習ではあるが、継続の大切さを感じた。パートリーダーの3年生を中心にすべて主体的な学びがなされ、先輩から後輩へつなぐ迫力ある素晴らしい歌声と演奏技術であった。

- (3) 市の音楽発表会(11 月 8 日)

・スローガン 「とどけよう！音楽のおくりもの」 ・発表種目 合唱 器楽 吹奏楽 その他  
妙高市内の小学生が一堂に会し、「とどけよう！音楽のおくりもの」のスローガンのもと、学習の成果を鑑賞し合い、発表の場を通して交流を深めた。妙高市内の全学校が参加できた。発表内容もバラエティに富み、昨年以上のレベルの高い音楽発表との感想が多く、有意義な小中の交流の場となった。

## 4. 成果と課題

市の音楽発表会の企画・運営を通し、音楽部員が大変よくまとまっている。お互い分かり合える小規模市町村効果もあり、様々な機会を活かし、研修意識の高い集団が育っている。音楽発表会の各校の内容もそれぞれの学校カラーを大切に、子どもたちも教師もお互い学ぶ機会となっていた。

今年の授業公開者が中学校教師という専門的立場であったため、本時の授業内容にとどまるだけでなく、3年間を見据えた音楽指導の在り方を学ぶ意義あるものとなった。小学校教師は、担任した学年だけの視野で指導しがちだが、音楽で育てたい力を縦の流れで見ることの大切さを実感した。